

パツピー 参上

パパ、ママと見おむつ事情

1

ある日曜日の昼下がり

(団地の公園で)

- B: アラッ a ちゃんのお父さん、こんにちは。
A: あっどうもー、こんにちは。
B: ところで自宅では紙おむつ使ってるっしょ？
A: うちは昔からずっと布を使ってるんですよーそれにうちの娘は肌がデリケートだから・・・
B: アラッ布？紙おむつのほうがいいですよー何といても1日4回しか取り換えることがないよ
A: はーそれは便利ですね。でもむれませんか？
B: CMでむれないってってるから大丈夫ですよ。今どき布なんて流行りませんよー。布は洗濯も大変でしょ。紙おむつはそのままポイよ。
A: アレッ紙おむつって燃えないんじゃないですか？
B: エッ？紙じゃないの？紙なんでしょ！



それを聞いていた子供たち

- a: へー b くんのおむつって紙じゃないんだー
b: だからムレムレなんだー。このごろ、かゆいんだ。布のほうがいいのかな？どう、 a ちゃん？
a: パパ、あんなこといってるけど、布だってムレムレよ。おなか苦しいし・・・
b: a ちゃん、大変だね。ママ、楽だいたいってるけどボクの将来考えてくれるのかなあ？
a: ホントそうよねー。
a, b: ボクたちの気持ちもわかってよー。

こうして子どもたちのイライラはつるのだった。

この会話は決して大げさなものではなく、実際にこのように思っているお父さんやお母さんが少なくない。



大人の思いこみ

- ・1日4回しか取り換ええない⇒不衛生
- ・CMをうのみにしている⇒CMにはうそがある
- ・紙おむつの処理の仕方がわかっていない。⇒環境問題

子どもの言い分

- ・紙も布もむれる⇒かぶれの原因
- ・むれるとイライラする⇒ストレスがたまる

おむつを取り換えるということは、親と子がコミュニケーションをとる機会のひとつである。

赤ちゃんは、最も身近な存在である親に衣・食・住のすべてを頼っているため、親の影響が大きく、幼児期に家庭でじゃうぶんな満足を得ることができたが赤ちゃんの将来につながるというも過言ではない。

この問題の実情を知るために、いくつかの実験を試してみた。

布おむつと紙おむつ

2

実験1

紙おむつを開いて、お尻の部分に手をのせて、手首から先を紙おむつでびっちりくるむようにしてテープでとめる。布はおむつカバーでとめる。布おむつは2枚重ねてその上に不織布を使用。(つまり、手が赤ちゃんのお尻の代わりにするわけです。)



布
⇓

サラサラなので気持ちが良い

紙
⇓



汗ばんでむれてくるので5分も我慢していられなかった。

実験2

水を紙おむつに200cc含ませる。(200ccは、紙おむつを1日4回取り換える1回分の量)



布
⇓

紙ほどではないがむれる
濡れた部分が肌にまとわりついてくる

紙
⇓



おむつの表面は確かにサラサラだが2分くらいすると汗ばんでくる。

布も紙もむれる=通気性が悪い→おむつかぶれになる→ストレスの原因→将来性格が悪くなる

布おむつと紙おむつの比較

	布(M ² -含む)	紙
成分	綿100% 毛100%	ポリプロピレン不織布 吸収紙及び綿状パルプ ポリエチレンフィルム 粘着テープ
利点	洗濯して繰り返し使えるので非吸収性に優れている。 透気性が高い。(蒸れにくいとき)	コンパクトなので旅行に便利。 吸収性に優れている。
欠点	吸収性が悪い。 洗濯が大変 濡れると体にまとわりつく。	通気性が悪いのでかぶれる。 燃やすゴミと一緒に処分すると、石油製品を燃やすことになるので公害の原因になる。



誤解している紙おむつ

素材→ポリプロピレンは紙ではなく石油製
品のひとつ
吸収材→パルプ100%となっているが、ポリマーという石油の粉でできている
防水材→ポリエチレンフィルムというから紙ではない

このことからわかるように、紙おむつは紙からできてはいない。「紙おむつ」というのは不当表示である。原料は石油なのだから「石油おむつ」と表示すべきなのだ。



「モレない」「ムレない」など紙おむつCMがテレビで流されている。しかし、私たちの実験で「ムレない」ということがうそであるとわかった。布おむつを使ったり、紙と布を併用したりしている人もいます。おむつを使うということは、赤ちゃんの将来に関わることだからファッションの流行を追うことは違う。

紙おむつにかわる布おむつ

これは約11年前に開発された製品である

快適おむつ
ベビーネンネ

- ①大きさ スペアは、幅15cm長さ30cmで今までの5分の1
- ②吸収性 メリヤスの布地で、しかも吸収を高めるため、ウェーブ状に織ったものを使用
- ③通気性 木綿をウェーブ状に織ったので通気性抜群

むれないし、吸収性に優れているので布おむつや紙おむつよりも赤ちゃんやお母さんに優しい。

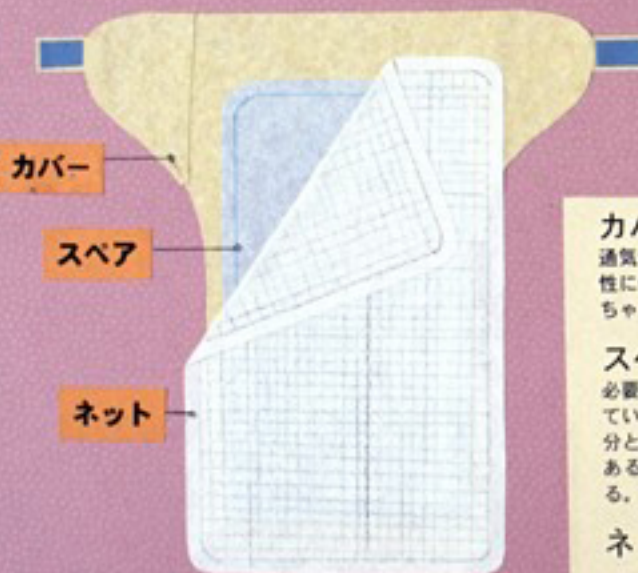
面積は同じでも、吸収性は布おむつ1枚と同じ100cc
メリヤスなので伸縮性がある
洗濯が簡単、持ち運びが便利

BUT



売れなかった・・・

どうしてこれが普及されなかったのだろうか？
当時、すでに紙おむつが主流だった。安くなかったのでメーカーに受け入れてもらえなかったのではないだろうか？また、病院が紙おむつをすすめていたことなどが原因と思われる。



カバー

スペア

ネット

カバー

通気性100%で、しかも水を通さない。伸縮性に優れ、お尻に柔らかくフィットするので赤ちゃんは自由に動ける。

スペア

必要な部分だけあたるように、型は小さくなっている。しかし、吸水量は赤ちゃんの排便2回分とさらしおむつの2枚分。柔らかく弾力性のある綿100%なので何回洗っても使用できる。

ネット

ぬれたスペアと肌との間に空気層をつくるので、赤ちゃんのお尻はいつもスベスベさわやか。肌の敏感な赤ちゃんにも安心して使える。



提案

ベビーナンを改良版 パッピースリム



4

通気性

ネットはぬれたスベアのべたつきを感じさせない。

吸水性

綿の間にへちまのスポンジを入れており、簡単にはもれないようになっている。

処理方法

うんちをしたら、ネットをはずしてトイレにうんちだけを捨てる。1日のおむつを取り換える目安は5～6回。(できれば赤ちゃんの様子を見て取り換えてあげる。)汚れたら手洗いをする。

かわいい絵柄



ネット



ウェーブ状に織る



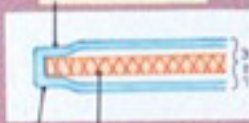
通気性抜群！！

空気の層

スベア



3層になっている



綿

へちまスポンジ

水分を吸収

綿100%

2枚重ねて使用

カバー



メリヤス

しめつけられない

マジックテープ

毛100%

利点

- ☆ネットはウェーブ状に織られているため、肌との接触部分が少ない。
- ☆スベアが薄いので、乾きが早い。
- ☆科学繊維を使っていないので、肌にも地球にも優しい。
- ☆スベアもネットも何度も洗って使えるので経済的である。
- ☆早くおむつ履れができる。

宣伝方法

- 1 街頭で試供品を配る。
- 2 「ばっぴー」の実験をお父さんやお母さんの目の前でする。
- 3 「ムレムレくん、イライラくん、バイバイ」というキャッチコピーでテーマソングを作って、歌を流すことで多くの人に「ばっぴー」のことを知ってもらう。

私たちは布おむつと紙おむつの両方の利点をあわせたおむつを考えました。(利点をあわせることで欠点を埋めるというわけです。) お父さん、お母さんは少し大変かもしれませんが赤ちゃんと地球環境を考えるならパッピースリムを使ったほうがよいのではないかと思います。結局は地球のみんなのためにもなるでしょう。また、これからは高齢化社会です。なるべくおむつに頼らない方が望ましいのですが、もしもの時に活用させてほしいです。

イライラくん、ムレムレくん
バイバイ！
これでみんなハッピー

